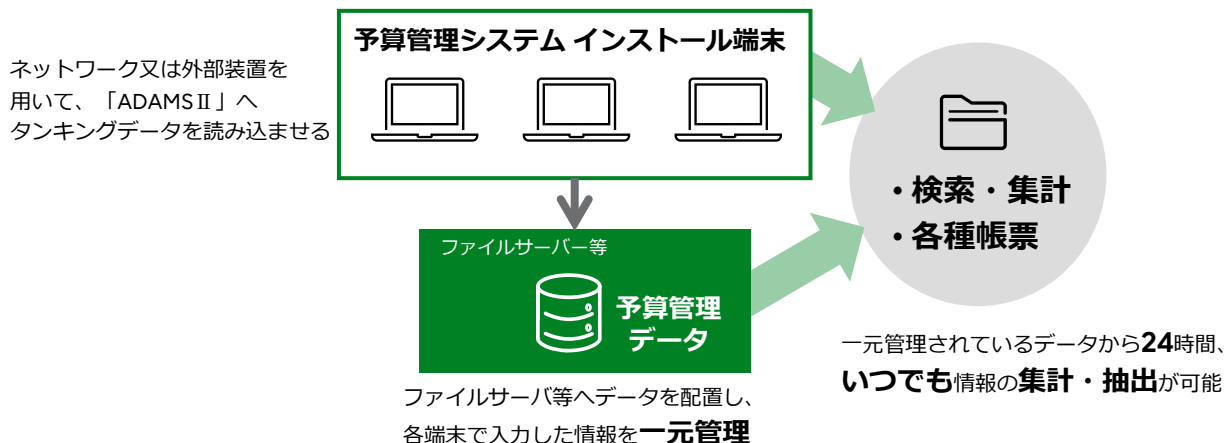


『予算管理 for Windows V3』は、「官庁会計システム」（ADAMSⅡ）への連携に加えて、執行計画の作成から契約に関する情報の管理など、予算執行全般に関わる業務をカバーしています。

また、全国100官署以上のお客様へ導入させていただき、官公庁様の予算執行管理業務のノウハウはもちろん、システムの使いやすさも考慮されたシステムとなっております。

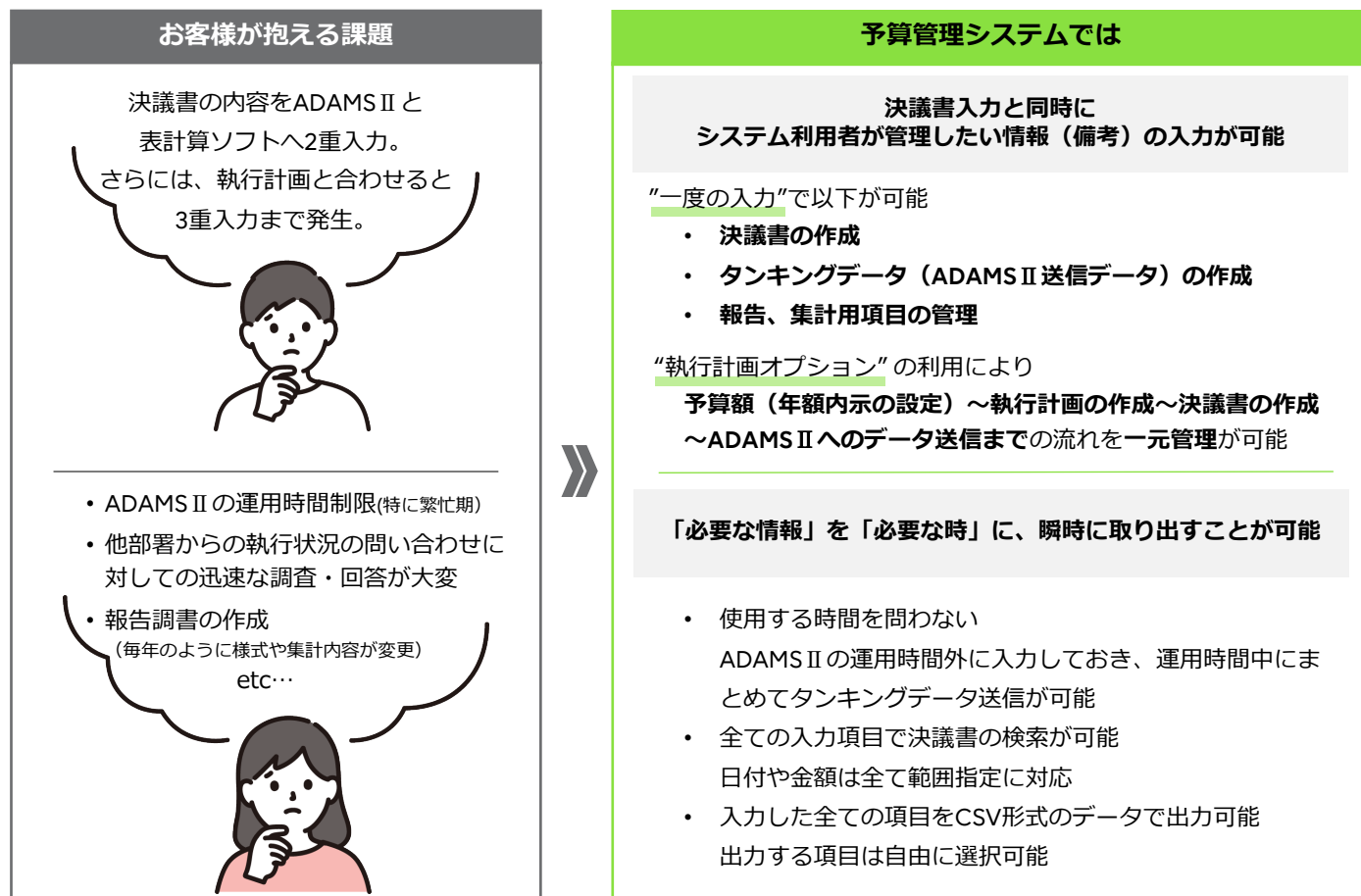
システム運用イメージ

『予算管理 for Windows V3』（以降、「予算管理システム」と記載）の運用は、複数台での運用が基本となります。



システム化によるメリット

予算管理システムを導入することで、業務効率を向上させることが可能です。



システムでカバーする業務

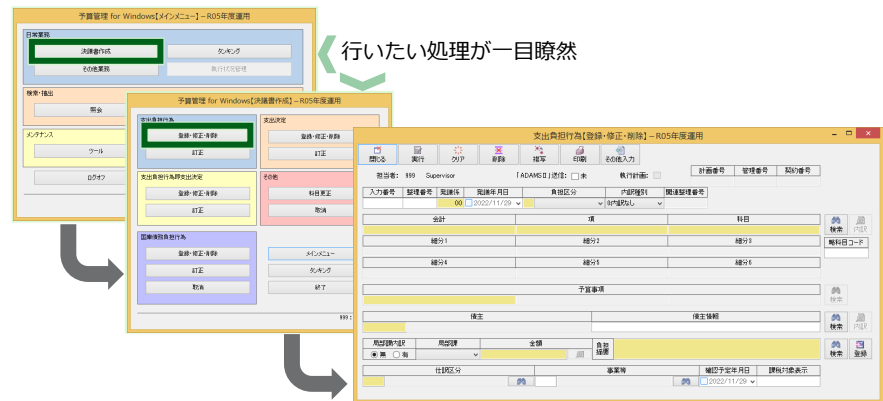
予算管理システムでは、以下の業務をカバーします。

No.	業務	説明
1	決議書作成業務	<p>以下の決議書作成が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none">・支出負担行為決議書（内訳なし・科目内訳・債主内訳）・支出決定決議書（内訳なし・科目内訳・債主内訳）・支出負担行為即支出決定決議書（内訳なし・科目内訳・債主内訳）・国庫債務負担行為決議書・決議書訂正・決議書取消・科目更正 <p>入力した内容についてタンキングデータを作成し、ADAMSⅡへ読み込ませることが可能です。</p>
2	予算残額管理業務	<p>あらかじめ予算額（負担行為示達額・支払計画額）を設定しておくことで、予算残額を把握することが可能です。予算の差引は、予算科目・予算事項だけでなく、局部課^{（注1）}ごとにも実施可能です。また、決議書作成のタイミングで、予算額の残額チェックを行うことができます。</p> <p>（注1）予算管理システムにおける「局部課」は、以下の2通りの方法で利用可能です。</p> <ol style="list-style-type: none">1. ADAMSⅡにおける「局課」と同義として取り扱う。2. 予算管理システム上でのみ管理する組織（部署、地方支分局等）として取り扱う。
3	決議書検索業務	<p>入力された決議書を、決議書上の全ての項目で検索することが可能です。</p> <p>検索結果を画面に表示するだけでなく、CSV形式でのファイル作成も可能です。</p> <p>CSVファイルに出力する項目は、システムご利用担当者様ごとに設定することができます。</p>
4	集計帳票作成業務	<p>入力された予算額・決議書を元に、システム規定のフォーマットで帳票出力することが可能です。（約20帳票）帳票は全てプレビュー表示可能で、プレビュー表示した状態からExcel形式に保存することができます。</p>
5	債主登録業務 （オプション機能）	<p>債主登録事務を予算管理システム上で実現します。本オプションを利用することで、債主登録の手間を緩和します。業務の流れは以下の通りとなります。</p> <ol style="list-style-type: none">① 予算管理システム上で債主登録（新規登録、関連付登録など）② ADAMSⅡ タンキングデータの作成③ ADAMSⅡ へタンキングデータの送信（ADAMSⅡ より債主コードが付番されます）④ 予算管理システムで債主コードを再登録
6	執行計画作業業務 （オプション機能）	<p>決議書の元となる執行計画データを登録することが可能です。</p> <p>登録された執行計画データから決議書を作成したり、契約情報を作成することが可能です。</p> <p>執行計画データは月単位で管理され、執行率の算出等も可能です。</p>
7	契約情報作成業務 （オプション機能）	<p>執行計画に対して執行を行うにあたり、契約に関する情報を登録することが可能です。</p> <p>登録した情報はCSV形式でデータ出力可能です。</p> <p>契約情報では主に以下の項目が登録可能です。</p> <ul style="list-style-type: none">・基本情報（契約件名、契約方式、随意契約理由、契約業者など）・補足情報（見積取得業者、ユーザ定義情報^{（注2）}）・明細情報（品名・型番・数量・単価などの物品等購入情報）・決議書情報（当該契約に対する決議書を関連付けて作成・管理可能） <p>（注2）予算管理システムでは、各種画面に「ユーザ定義項目」を搭載しています。</p> <p>「ユーザ定義項目」とは、入力する値だけでなく、入力欄名称自体もシステムご利用担当者様が設定できる項目です。</p> <p>年度ごとに管理したい項目が変わる場合など、システム改修を行うことなく対応が可能です。</p>

システムの特徴・機能

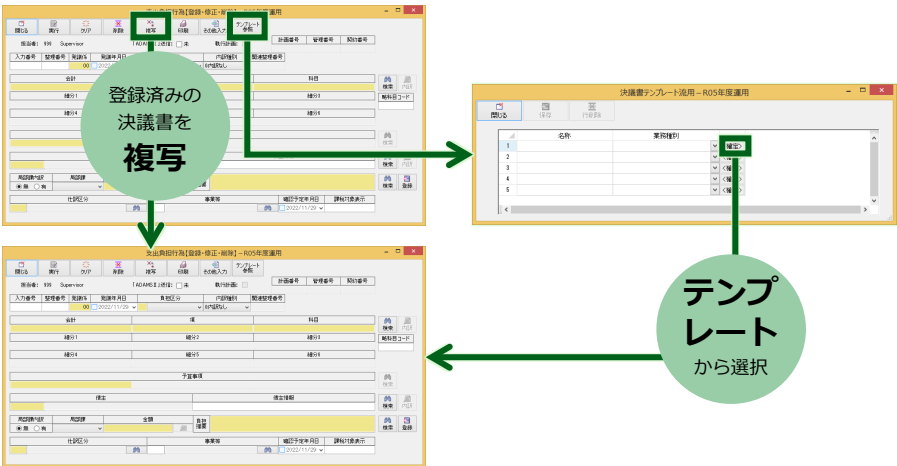
操作性

画面の表示・切り替えはメニュー形式となっています。
やさしい操作性で、初めて操作するご担当者様でも、次の処理にスムーズに移ることが可能です。

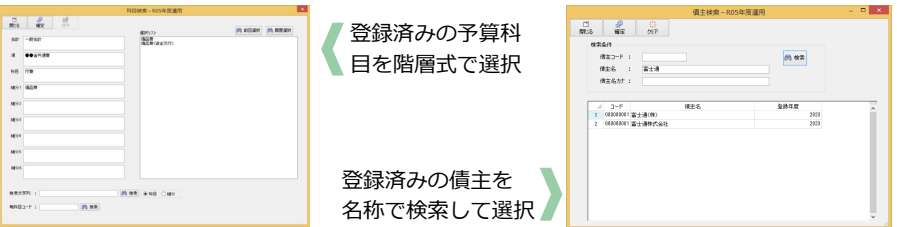


入力補助機能

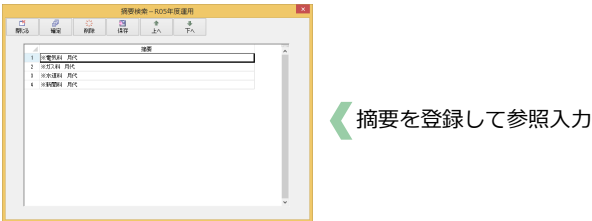
決議書作成においては、各種情報を直接入力するだけでなく、以下の入力が可能です。
・登録済決議書の複写
・テンプレートからの流用入力
決議書作成の手間を大幅に削減します。



予算科目や債主などは、あらかじめマスタ登録した内容から選択することが可能です。毎年変更になる略科目コードや事項コード、また、債主コードなどを覚えておく必要はありません。

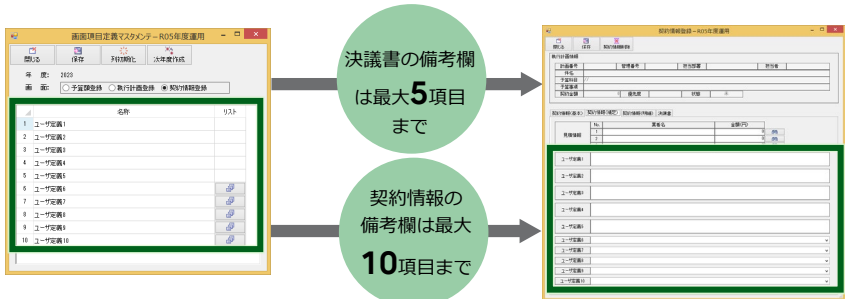


負担摘要についてはシステムにログインする担当者ごとに、内容を保存しておくことが可能です。決議書作成時に保存した内容から参照入力することが可能です。



充実した備考欄

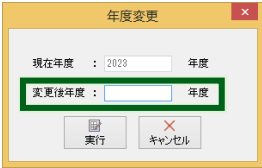
主要な画面において、ご担当者様が自由に設定できる備考欄を多数搭載しています。ADAMS II がない項目で、予算額・決議書・執行計画・契約情報の管理が可能です。
なお、これらの備考欄でのデータ検索・データ抽出も可能です。



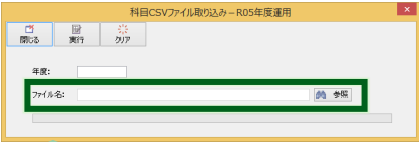
年度切替機能

システム運用年度の管理は端末ごとに行われています。そのため、出納整理期間などに「旧年度の支払」と「新年度の負担行為」を、端末間で並行して行うことが可能です。

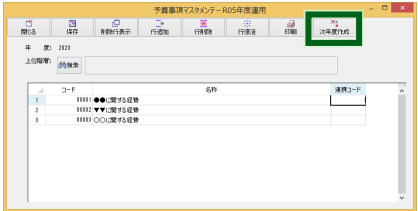
また、各種マスタデータは「CSVデータの取り込み」や「次年度データの作成」が可能ですので、スムーズに新年度の運用に切り替えることが可能です。



変更したい年度を入力するだけ。
過去年度への溯りも可能



ADAMS II から出力した科目情報CSV
データの取り込みに対応



年度単位で管理されるマスタデータは
現在の年度のデータを翌年にコピーし、
流用することが可能

照会機能

入力された決議書の進行状況を一目で把握できる「処理状況一覧」画面や、決議書を検索して表示する「決議書データ一覧」画面など、予算残額の照会画面以外にも様々な照会画面が搭載されています。



決議書の進行状況が一目で判断可能

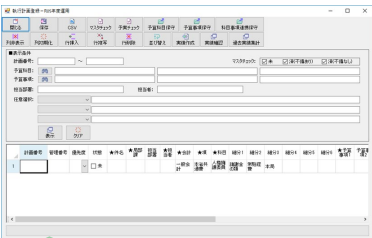


決議書の詳細情報を、明細単位で表示。
CSV系形式でのデータ出力も可能

執行計画作成・管理機能

※オプション製品

決議書を作成する前処理として、執行計画データを登録しておくことが可能です。執行計画データを登録しておくことで、その後の契約情報の登録・決議書の作成までの一連の流れを連携させて登録・管理することが可能となります。



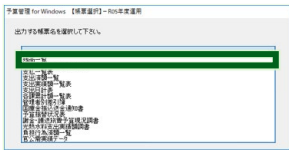
執行計画の作成は、直接入力だけでなく、Excelからの貼り付けも可能



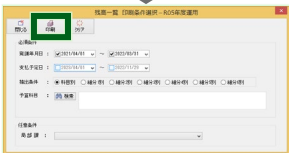
様々な切り口で、“執行計画予定残額の把握”、“実績残額の把握”が可能

出力帳票

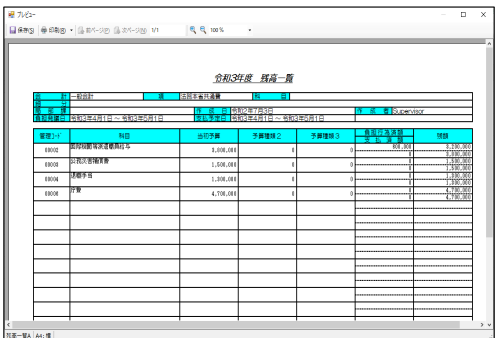
印刷条件（各種日付、予算科目、局部課等）を指定し、【印刷】ボタンをクリックするだけで簡単に帳票の出力が可能です。帳票は全てプレビュー表示からExcel形式での保存が可能となっている為、自由に加工・追記していただけます。



帳票選択



印刷



製品概要

■ 予算執行業務

機能	特長
ADAMS II 対応業務	支出負担行為（内訳なし、科目内訳、債主内訳、細分内訳）【登録、訂正、取消】
	支出決定（内訳なし、科目内訳、債主内訳、細分内訳）【登録、訂正、取消】
	支出負担行為即支出決定（内訳なし、科目内訳、債主内訳、細分内訳）【登録、訂正、取消】
	科目更正
	国庫債務負担行為（年割額5年以内、年割額6年以上）【登録、訂正、取消】
	債主登録 ※オプション機能

■ その他機能

機能	特長
各種マスタメンテ	予算科目（会計／項／科目／細分1～6の最大9階層まで管理可能）、事項（最大3階層）、債主、工事など。
予算額設定	予算科目／事項／局部課別に、最大3種類まで設定可能です。
処理状況一覧	決議書の処理状況を一覧画面で瞬時に把握可能です。
決議書データ検索	入力済の決議書データについて、決議書内の全ての項目で検索可能です。
	日付や金額についての範囲指定、また、金額については負担行為金額だけでなく、支払金額での検索も可能です。
	検索結果の帳票出力・CSV形式でのデータ出力も可能です。
各種残高照会	予算科目別、局部課別、事項別等で、瞬時に予算額・負担行為済額・残額の照会が可能です。
決議書任意項目	決議書作成時には、「ADAMS II」に準拠した項目だけでなく、ご担当者様が自由にタイトルを設定できる備考項目を、複数ご用意しています。 もちろん、これらの項目での検索や集計も可能です。
予算科目記憶機能	過去に選択された予算科目を、最大5回まで記憶しています。 同じ予算科目を何度も選択する場合や、担当業務によって使用する科目が限定されている場合に、瞬時に選択可能です。

出力帳票

帳票は全て「プレビュー表示」と「Excel保存」が可能です。
本システムから出力された帳票を、容易に加工していただくことができます。

帳票名		
支出負担行為決議書	支出決定決議書	支出負担行為即支出決定決議書
科目内訳書	債主内訳書	細分内訳書
局部課内訳書	国庫債務負担行為決議書	部分払調書
科目更正決議書	予算残高一覧	支出負担行為差引補助簿
支払一覧表	支出済額一覧	支出実績額一覧表
光熱水料調書	科目マスタ	債主マスタ
事項マスタ	決議書データ一覧	決議書データCSV出力

商品体系

■ パッケージ商品情報

No.	商品名称	備考
1	予算管理 for Windows V3.0（MDB版）	1端末使用ライセンス含む
2	1端末追加ライセンスV3.0（MDB版）	1端末あたり1本必要
3	予算管理 for Windows V3.0（ORACLE版）	1端末使用ライセンス含む
4	1端末追加ライセンスV3.0（ORACLE版）	1端末あたり1本必要
5	ADAMSタンキングデータ連携オプション V3.1	
6	債主登録オプション	
7	官公需実績表作成オプション	
8	執行計画作成オプションV2.0	

■ サービス商品情報

No.	サービス名称	備考
1	導入教育サービス	
2	クライアントセットアップサービス	
3	データベースエンジンセットアップサービス	サーバーへのデータベースエンジンのセットアップ費用になります。（ORACLE版購入時必須）
4	DB環境セットアップサービス	
5	年間サポートサービス	
6	カスタマイズサービス	

動作環境

基本ソフトウェア	データベースソフト	必須ソフトウェア
対応OS <ul style="list-style-type: none">Microsoft®Windows®11（64bit）	Microsoft®Access®	<ul style="list-style-type: none">Microsoft®Excel®2021、Microsoft®365 デスクトップ版のみ対応、ストアアプリ版は動作保証対象外です。Microsoft®.NETFramework4.6以上必須 上記以外をご希望の場合は、弊社までお問い合わせください。データベースソフトにおいて、Microsoft®Access®を使用する場合、Microsoft®Access®自体がインストールされている必要はありません。

コンピュータ本体	メモリ	ハードディスク
Pentium等のCPUを搭載したパーソナルコンピュータ （クロック数 1.5GHz以上必須、2GHz以上推奨）	4GB以上必須 8GB以上推奨 ※ネットワーク経由（複数台）で使用する場合は、上記以上のスペックを推奨致します。 【参考】CPU：3GHz以上、メモリ：3GB以上 ※ネットワーク経由（複数台）で使用する場合、処理速度はコンピュータ性能、及びネットワーク環境に依存します。	約100MB以上 ※上記容量は、予算管理システム（アプリケーション）自体に必要な容量です。関連ツール（Microsoft .Net Framework等）、及びデータベースの容量は含んでおりません。 ※データベースの容量は、決議書・債主等のデータ件数に依存しますが、最低500MB以上の空き容量が必要です。

その他
<ul style="list-style-type: none">解像度1024×768ピクセル以上のディスプレイ必須 1280×800ピクセル以上推奨（フォントサイズ：96DPI）マウスまたは同等のポインティングデバイス必須プリンタ（A4、A3印刷が可能であること）外部記憶装置（バックアップに使用） 共有サーバ等にバックアップデータを取得する場合には不要システムインストール時、管理者権限（Administrator）権限が必須システムを使用するOSのアカウントにおいて、システムインストールフォルダ及びデータベースフォルダへのフルアクセス権限が必須

導入実績

北海道から沖縄県まで全国各地の施設様にご導入いただいております。詳しくはお問い合わせください。
府省庁の約100施設で導入されています。

導入済み 府省庁		
法務省（法務局、検察庁、入国管理局）	衆議院	内閣府
厚生労働省（労働局）	総務省	経済産業省
財務省（財務局）	－	－

よくある質問

質問	回答
予算管理 for Windows V3にログインできない。	ユーザーロックが掛かっています。ログイン画面右下のコピーライトの文字が枠線ありの状態になっているので、コピーライトをクリックするとユーザーロックを強制的に解除するか確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックするとユーザーロックを解除できます。
最適化と年度整理を実行したが、予算管理 for Windows V3の動作が遅い。パフォーマンスを向上させる手段はあるか。	データベースファイルを設置している共有サーバーやNASのTrash Box（ごみ箱）を空にしてください。Trash Boxに大量のファイルがあると動作が重くなることがあります。
バックアップのデータベースがどこにあるかわからない。	バックアップが作成されるフォルダーについては環境設定画面のバックアップ先を確認してください。バックアップファイルは“YosanV3_xxx.mdb”（xxxはtue等曜日を意味するアルファベット3文字が入る）になります。
予算管理 for Windows V3を起動しようとしたところ、データベースに接続できない旨のエラーメッセージが表示され、データベース接続先設定ツールが起動する。	ログファイルを弊社までメール送付をお願いします。ログファイルはインストールフォルダ“C:\¥YosanV3”内の“Yosan1.log”になります。（インストール先がCドライブ以外の場合は、環境設定にてインストール先を確認してください。）ログファイルの解析後、対処方法をお知らせします。
操作がわからなくなった場合は？	年間サポートサービスをご契約いただいておりますお客様に対して、QAサポートをご提供しております。 なお、QAサポートご希望の場合、年間サポートサービスのご加入が必須となります。
運用中、不具合が発生した場合は？	弊社、サポートセンターにご連絡ください。内容をお伺いした上で、対応策を検討させていただきます。 (注) なお、原因が弊社のバグである場合は、対応モジュール（レベルアップ版）を後日送付させていただきます。レベルアップは、いくつかの対応をまとめて行うため、時間を要する場合があります。（緊急障害時を除く）

上記ご質問を含む『予算管理 for Windows V3』ご利用の際のよくあるご質問については、こちらの [別紙](#) をご参照ください。

- 記載内容は予告なしに変更されることがあります。いかなる場合でも、内容およびその運用の結果に関しては一切の責任を負いません。
- 内容の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 記載されている会社名、商品名は、各社の商標および登録商標です。

お問い合わせ先

富士通株式会社

<https://contactline.jp.fujitsu.com/customform/csque19802/252318/>